

平成19年2月 試験研究業務月報



ケルテックシステムによる蛋白の分解

課題名 自給飼料分析センターにおける飼料分析

要 旨

自給飼料の成分分析は、飼料配合設計上非常に重要なことです。本年度は2月末現在で、延べ件数 20 件、検体数 46 検体を分析しました。

その結果、カリウム含量が高いものが5検体見られ、堆肥・肥料の過剰施用が考えられるため、施肥を控えるように指導しました。

京都府畜産技術センター